

(雛形)

\_\_\_\_\_  
様

# 経営診断書

平成 年 月 日

相双農林事務所農業普及部

主査

主査

# 1 , はじめに

この度は、経営診断のための調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

様およびご家族の経営判断の役立てていただけるよう、様々な角度から分析・診断し、助言させていただきました。

本診断書が 様およびご家族にとりまして、今後のより良い経営計画の一助となりましたら幸いです。

尚、診断書の全ての分析および提案は、 様からの提出いただきました決算書等と聞き取りにおける情報に基づいて作成しております。

## = 目 次 =

1 , はじめに ..... \* ページ

2 , 分析・診断の結果 ..... \* ページ

3 , 分析・診断のための基本情報 ..... \* ページ

( ... 経営概況、... 経営方針、... 農地等の利用、... 施設整備、... 生産技術、... 決算情報等 ... )

4 , 分析表 ..... \* ページ

5 , おわりに ..... \* ページ

## 2 , 分析・診断の結果

( 1 ) 生産技術

生産技術に関して、現状を分析・診断した結果を報告させていただきます。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

( 2 ) 経営管理

経営管理（主に財務管理）に関して、現状を分析・診断した結果を報告させていただきます。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*。

3 , 分析・診断のための基本情報（聞き取りによる）



( 3 ) 農地等の利用

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*。

( 4 ) 施設整備

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*。

( 5 ) 生產技術

\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*。

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*。

\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*。

\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*。

( 6 ) 決算情報等

## 4 , 分析表



## 5 , おわりに

今回は 様のご協力により、本診断書を作成させていただきましたが、この診断書をお読み頂いて、現在の状況と今後の課題についてはかなり把握して頂けたものと存じます。

しかし、先行き不透明な現在の状況にあっては、定期的に今回の診断内容についても見直しを行うことが必要不可欠であると思われます。その際にはまた協力をさせて頂くことが出来ましたら幸いです。

この診断書が、 様ご一家にとってお役に立てることを祈りつつ、私どものご報告を終わらせて頂きます。

について

の は、生産量・品質面のどちらの面でも、管内の平均以上のレベルにあることから、技術的に高いレベルにあるものと思われます。また、現在は、××という方法の中で栽培している点を考慮すると、今後は、品種の切り替えや、 技術の導入により、更なる生産量の増加が見込める余力があると思われます。

しかし、 の は、現在は一般的な品種となりつつあり、市場での優位を維持出来るかどうかは不透明であり、今後の動向を注視する必要があると考えられます。別に、ここ数年間の市場動向と、当県のオリジナル品種 の資料を添付しましたので、今後の経営判断の際の参考にしてください。